



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL https://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 辻 鶴男 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	36,836	△41.2	△3,802	ー	△3,150	ー	△3,978	ー
2020年3月期第2四半期	62,680	△13.2	341	△22.1	110	△67.7	33	△90.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △4,126百万円 (ー) 2020年3月期第2四半期 △1,360百万円 (ー%)

(参考) EBITDA 2021年3月期第2四半期 2,316百万円 (△69.4%) 2020年3月期第2四半期 7,574百万円 (△14.4%)

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△155.80	ー
2020年3月期第2四半期	1.31	1.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	122,903	53,294	43.2
2020年3月期	123,054	57,364	46.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 53,130百万円 2020年3月期 57,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	8.00	ー	0.00	8.00
2021年3月期	ー	0.00			
2021年3月期 (予想)			ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,900	△27.1	△4,000	ー	△3,450	ー	△4,400	ー	△172.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	26,076,717株	2020年3月期	26,076,717株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	409,984株	2020年3月期	602,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	25,533,323株	2020年3月期2Q	25,755,771株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 追加情報	9
(7) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を色濃く受け、経済活動の停滞に伴う内需の減少や輸出鈍化により大きく悪化することとなりました。第1四半期を底に回復基調にはありますが、先行きについては依然不透明な状況が続いております。海外においても、米中貿易摩擦の長期化などによる世界経済への影響や中国、インド経済の成長鈍化がみられた中で、新型コロナウイルス感染症拡大により各国経済活動が強く制限され、当社の主要顧客である自動車業界を取り巻く環境も大きく変化し自動車販売量は大きく減速することとなりました。

このような急激な市場環境の変化に対して、当社グループでは各国・地域の規制に応じ新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら販売量の大幅な減少に合わせた休業の実施、操業の一部停止や勤務体制の見直し等の生産体制の調整、社内の遊休設備の活用等による設備投資の抑制、出張の原則禁止やWeb会議の活用等による経費削減等、緊急対策に取り組んでまいりましたが、急激かつ大幅な販売量の減少の影響は大きく国内・海外ともに営業損益は当初計画を上回るものの営業損失の計上を余儀なくされました。

自動車販売の回復ペースは各国及び顧客ごとに差異は見られるものの、経済活動の再開が進んだことを受け、当社グループの生産状況は第1四半期を底に回復基調にあり、第2四半期の3ヶ月間では中国での販売量が前期水準まで回復し、営業損益も黒字転換したことに加え、国内の販売量も徐々に回復傾向にあることから、第1四半期と比較すると売上高、営業損益ともに改善しております。

当社グループでは、引き続き事業環境の不透明感が残る中、これまで2019年度より取り組んできた1921中期経営計画に基づく施策展開を更に加速し、原価低減・生産性改善による収益性のさらなる改善を進め、収益力の回復に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高36,836百万円(前年同四半期比41.2%減)、営業損失3,802百万円(前年同四半期は341百万円の営業利益)、経常損失3,150百万円(前年同四半期は110百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失3,978百万円(前年同四半期は33百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場は、当社主要顧客である自動車メーカーを含む多くの顧客で、新型コロナウイルス感染症拡大による操業停止や生産調整が断続的に実施され、当社もこの影響を受け、受注量が大幅に減少しました。現在は緩やかに受注量を取り戻しているものの、アルミ地金市況の下落も影響し、売上高は18,204百万円(前年同四半期比40.1%減)となりました。収益面においては、受注量減少の影響等によりセグメント損失2,719百万円(前年同四半期はセグメント損失158百万円)となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場は、新型コロナウイルス感染症拡大による主要顧客の操業停止が、当社受注量に大きく影響を及ぼしました。

米国工場では、米国での感染拡大が続く中で主要顧客の操業停止が相次ぎ、受注量が大幅に減少しました。

12月決算期のメキシコ工場においては、主要顧客である自動車メーカーの販売が低迷していたところ、感染防止策として政府によるロックダウンが行われた影響で、当社も操業停止を余儀なくされるなど、受注量が大幅に減少しました。

以上のことに加えて、アルミ地金市況も下落したことから、売上高は8,610百万円(前年同四半期比49.3%減)となりました。収益面においては、受注量減少の影響等によりセグメント損失323百万円(前年同四半期はセグメント利益478百万円)となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

12月決算期の中国工場では、第1四半期(1月～3月)における新型コロナウイルス感染症拡大による一部都市の封鎖や、各地での外出規制の実施、また、主要顧客である自動車メーカーの操業停止の影響により、自動車販売台数、生産台数共に大幅に減少しましたが、第1四半期での大きな落ち込みから徐々に回復の兆しが見え始め、第2四半期(4月～6月)の売上高は前期水準まで回復しました。

一方、インド工場においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、感染防止策として政府によるインド全土でのロックダウンが行われた影響で、当社も操業停止を余儀なくされるなど、受注量が大幅に減少しました。

以上のことにより、売上高は7,603百万円(前年同四半期35.3%減)となりました。収益面においては、受注量減少の影響等によりセグメント損失959百万円(前年同四半期はセグメント損失320百万円)となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前年同期と比べ販売重量が32.0%減少し、加えてアルミニウム相場の影響で販売単価が低い水準であったこともあり、売上高は1,394百万円(前年同四半期比32.6%減)となりました。収益面においては、売上高の減少による影響等により、セグメント損失41百万円(前年同四半期はセグメント利益107百万円)となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が減少したことにより、売上高は1,023百万円(前年同四半期比32.6%減)となりました。収益面においては、販売管理費の削減等により、セグメント利益は148百万円(前年同四半期比30.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は122,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円の減少となりました。流動資産は36,949百万円で、前連結会計年度末に比べ1,702百万円増加となり、その主な要因は、売上債権が2,513百万円減少した一方、現金及び預金が4,567百万円増加したことによるものです。固定資産は85,954百万円で、前連結会計年度末に比べ1,852百万円減少となり、その主な要因は、有形固定資産が2,715百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は69,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,919百万円の増加となりました。流動負債は42,925百万円で、前連結会計年度末に比べ465百万円減少となり、その主な要因は、短期借入金金が6,200百万円増加した一方、仕入債務が4,435百万円、設備債務が1,511百万円、1年内返済予定の長期借入金が374百万円減少したことによるものです。固定負債は26,683百万円で、前連結会計年度末に比べ4,385百万円の増加となり、その主な要因は、長期借入金が4,265百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は53,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,070百万円の減少となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が758百万円増加した一方、利益剰余金が4,032百万円、為替換算調整勘定が970百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末46.5%から43.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4,469百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には8,201百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、625百万円(前年同四半期は7,741百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費6,118百万円、売上債権の減少額2,423百万円等の資金増加要因に対し、税金等調整前四半期純損失3,728百万円、仕入債務の減少額4,330百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、6,368百万円(前年同四半期は9,167百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6,157百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は、10,241百万円(前年同四半期は1,193百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出37,257百万円、長期借入金の返済による支出4,630百万円の資金減少要因に対し、短期借入れによる収入43,558百万円、長期借入れによる収入8,715百万円の資金増加要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益等は業績予想を上回り、業績は概ね回復基調で推移しているものの、下期以降の経済動向に依然不透明感が残っているため、現時点での通期業績予想は、2020年8月6日に公表いたしました業績予想から変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,167	8,734
受取手形及び売掛金	17,922	16,021
電子記録債権	2,398	1,785
商品及び製品	3,115	2,896
仕掛品	3,603	3,604
原材料及び貯蔵品	2,810	2,462
その他	1,385	1,583
貸倒引当金	△154	△139
流動資産合計	35,247	36,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,867	14,520
機械装置及び運搬具(純額)	38,944	38,397
土地	5,622	5,612
建設仮勘定	12,384	10,533
その他(純額)	8,573	8,615
有形固定資産合計	80,392	77,677
無形固定資産	2,032	1,930
投資その他の資産		
投資有価証券	2,568	3,663
その他	2,834	2,703
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	5,380	6,345
固定資産合計	87,806	85,954
資産合計	123,054	122,903
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,284	7,255
電子記録債務	5,994	3,588
短期借入金	10,273	16,474
1年内返済予定の長期借入金	7,750	7,376
未払法人税等	304	200
賞与引当金	1,848	1,331
製品保証引当金	46	65
その他	7,889	6,635
流動負債合計	43,390	42,925
固定負債		
長期借入金	15,672	19,938
長期未払金	327	311
退職給付に係る負債	2,709	2,649
その他	3,588	3,783
固定負債合計	22,298	26,683
負債合計	65,689	69,609

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,964	6,964
資本剰余金	10,206	10,206
利益剰余金	38,806	34,774
自己株式	△412	△278
株主資本合計	55,564	51,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	926	1,684
為替換算調整勘定	1,047	76
退職給付に係る調整累計額	△360	△296
その他の包括利益累計額合計	1,612	1,464
新株予約権	187	164
純資産合計	57,364	53,294
負債純資産合計	123,054	122,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	62,680	36,836
売上原価	56,723	36,309
売上総利益	5,956	526
販売費及び一般管理費	5,615	4,328
営業利益又は営業損失(△)	341	△3,802
営業外収益		
受取利息	59	38
受取配当金	52	36
為替差益	—	3
スクラップ売却益	57	25
雇用調整助成金	—	746
その他	35	58
営業外収益合計	204	909
営業外費用		
支払利息	244	224
為替差損	155	—
その他	36	33
営業外費用合計	435	257
経常利益又は経常損失(△)	110	△3,150
特別利益		
固定資産売却益	20	6
補助金収入	100	73
特別利益合計	120	79
特別損失		
固定資産除売却損	112	67
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	590
特別損失合計	112	657
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	119	△3,728
法人税、住民税及び事業税	375	73
法人税等調整額	△289	176
法人税等合計	85	249
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33	△3,978
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	33	△3,978

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33	△3,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	758
為替換算調整勘定	△1,320	△970
退職給付に係る調整額	10	63
その他の包括利益合計	△1,394	△148
四半期包括利益	△1,360	△4,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,360	△4,126
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	119	△3,728
減価償却費	7,232	6,118
賞与引当金の増減額(△は減少)	△423	△506
製品保証引当金の増減額(△は減少)	4	19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	55	5
受取利息及び受取配当金	△112	△75
支払利息	244	224
有形固定資産除売却損益(△は益)	92	60
補助金収入	△100	△73
雇用調整助成金	—	△746
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	590
売上債権の増減額(△は増加)	2,998	2,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,185	493
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,114	△4,330
未払金の増減額(△は減少)	38	△48
未払消費税等の増減額(△は減少)	△343	286
その他	△9	△579
小計	8,865	133
利息及び配当金の受取額	68	129
利息の支払額	△221	△229
法人税等の支払額	△1,195	△323
法人税等の還付額	155	268
補助金の受取額	69	648
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,741	625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100
有形固定資産の取得による支出	△9,213	△6,157
有形固定資産の売却による収入	145	19
投資有価証券の売却による収入	0	—
その他	△100	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,167	△6,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	35,761	43,558
短期借入金の返済による支出	△33,536	△37,257
長期借入れによる収入	5,376	8,715
長期借入金の返済による支出	△5,697	△4,630
自己株式の取得による支出	△300	—
配当金の支払額	△309	△0
その他	△102	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,193	10,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	△29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△170	4,469
現金及び現金同等物の期首残高	2,901	3,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,730	8,201

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の処分)

当社は、2020年7月22日開催の取締役会において株式報酬としての自己株式の処分を決議し、当第2四半期連結累計期間に自己株式の処分を実施いたしました。この処分により自己株式は107百万円(156,541株)減少しました。

(6) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(7) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	30,367	16,982	11,745	2,067	1,517	62,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,635	3	701	1,769	1	4,110
計	32,002	16,985	12,446	3,836	1,519	66,790
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△158	478	△320	107	113	220

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	220
セグメント間取引消去	120
四半期連結損益計算書の営業利益	341

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	18,204	8,610	7,603	1,394	1,023	36,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	920	0	408	763	1	2,094
計	19,124	8,610	8,012	2,157	1,024	38,930
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△2,719	△323	△959	△41	148	△3,894

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△3,894
セグメント間取引消去	92
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△3,802

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。